

～天橋立を核とした魅力ある景観まちづくりに向けて～

第3回 天橋立周辺景観まちづくり・学習会 ワークショップ「まちの色を見つけよう！」を開催しました

建物の色を調べながら、まちの色について考えました

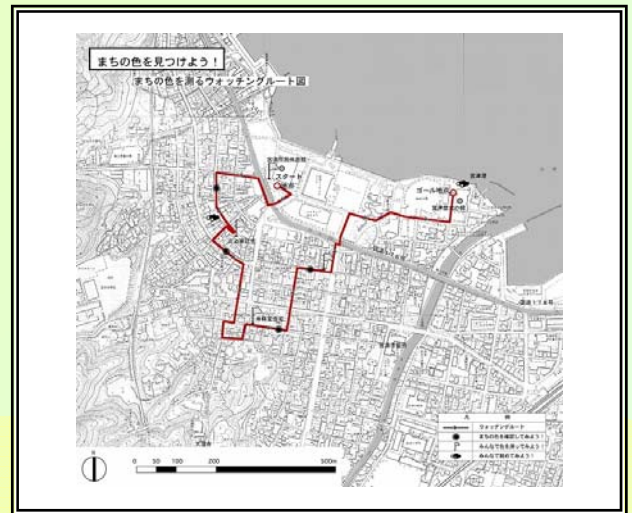
この学習会は、天橋立を中心とした周辺地域の優れた自然景観や眺望景観、まち並み景観を地域の住民の皆さんが守り育てていくために、景観まちづくりに対する理解を深めるとともに、先進事例等に学ぶことを目的としたものです。

3回目となる今回は、日本カラーテクノロジー研究所代表の澤一寛さんを講師に迎え、「まちの色を見つけよう！」をテーマに、まちなかを歩きながら建物の外観などの色を調べるとともに、天橋立周辺地域のまちにふさわしい色について考えました。当日は、あいにくの雨模様となりましたが約30人が参加しました。



プログラム

- 1 カラーウォッチングの進め方の説明
- 2 カラーウォッチング
まちなかを歩きながら実際に建物の色を測定
○色の測定ポイント
 - ・宮津市民体育館（壁面）
 - ・三上家住宅（漆喰壁、板壁）
 - ・今林家住宅（漆喰壁）等
- 3 カラーウォッチングのまとめと意見交換
- 4 まとめ



実際にまちの色を調べてみました

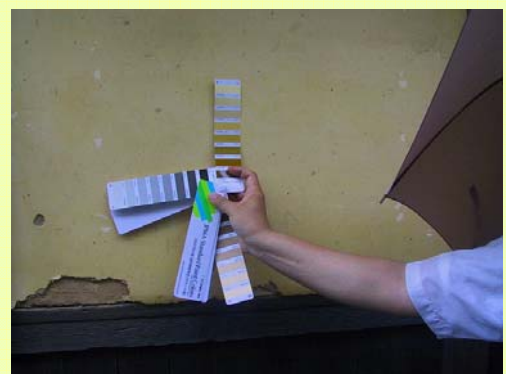
まちの色を測る

色を数値的に表すマンセル・カラー・システム（※）を用いて建物の外壁の色を測定しました。建物にカラーサンプルを当ててみて、一番近いものがその色のマンセル値となります。

これらの結果から、天橋立周辺地域にふさわしい建物の色について考えていきます。

※マンセル・カラー・システム

色を色相（色味）、明度（明るさ）、彩度（鮮やかさ）の3つの性質に基づいて数値的に表示する体系の一種



まちの景色を切り取る

フレームを使って、景色を切り取って見ました。パノラマで切り取ると視野に近い見え方となります。



まちなかを「カラーウォッチング」し、みんなで「まちの色」について考えました。

問1:今回ウォッチングしたなかで、気になる(違和感のある)色は何ですか。具体的な場所や建物、色について考えてください。

参加者の主な意見

- ・天橋立の方向を眺めたときに海辺の白い大きな建物が目立つ(白色)
- ・ミップルやパーキングはままちの色が気になる(赤や肌色、青色)
- ・古いまち並み(商店街等)の看板の色が気になる(赤色、橙色等)
- ・看板や洋風の瓦屋根の色が気になる
- ・歴史的なまち並みにみられる道路のアスファルト舗装や電線類が気になる



問2:今回ウォッチングしたまち並みや天橋立周辺のまちの色彩の印象について、みていて心地よく感じる場所や色はなんですか。

参加者の主な意見

- ・木造の建物があるまち並み(茶色)
- ・三上家や今林家、尾藤家、袋屋等のあるまち並み(黒い屋根瓦や白い土壁、自然素材の色)
- ・三上家周辺のまち並みの屋根や壁等(瓦屋根の色、漆喰壁の色、焼き杉板の色)
- ・島崎公園内の木々(樹木の緑色)



問3:天橋立周辺でこの地域にふさわしいと感じるまちの色彩は何ですか。

参加者の主な意見

- ・木造の格子(茶色(木の色)、自然素材の色)
- ・瓦屋根の建物(黒色、ねずみ色)
- ・和風の建築物(白色や茶色系)
- ・伝統的な家屋等(漆喰の白色、瓦の色等)
- ・浪花通、新浜通のまち並み(天橋立の松の色を引き立たせる色(原色以外))



天橋立周辺地域の特徴的なまちの色は・・・

周辺地域の和風建物の外壁をみると、「茶」や「アースイエロー」色が特徴的です。



お知らせ

- 次回の学習会は、この地域にふさわしい具体的な色彩を考えるワークショップ(学習会)を予定しています。
- 次回(第9回)の検討会は、平成19年8月下旬に予定しています。

編集・発行

【事務局】

■ 京都府 土木建築部 都市計画課 電話：075-414-5327(直)

■ 京都府 丹後土木事務所 企画調整室 電話：0772-22-2143(直)